

函館市内6企業のSDGsへの 取り組みを聴く

後期始まりの初日、10月1日（土）に高1ではSDGsの学びの1つとして、函館市内の企業でSDGs宣言を行い様々な取り組みを行っている6社をお招きし、お話を直接お聴きしました。

「廃棄物」をテーマとした『函館環境衛生』様からは、市内の様々なところから出されるゴミについて学び、分別の仕方、函館の課題などについてお話をいただきました。

同じく「廃棄物」をテーマとした『西武建設運輸』様からは、医療用廃棄物の処理についてと新しい街づくりについてお話をいただきました。

『チカラフーズ』様は、「フードロス」がテーマでした。コンビニのお弁当やお惣菜を作っている企業で、フードロスを減らすための取り組みについてお話をいただきました。

『三和防災』様は、「レジリエンス」というテーマで、本物の防災グッズ・防災フードを紹介していただきながら、災害（大雨・津波・地震など）に直面したらどうしたらよいかをお話して下さいました。防災センターまで持っている企業です。

「ダイバーシティ」をテーマにお話くださったのが、『五島軒』様と『菅原組』様でした。『五島軒』様は、レストラン経営・食品製造を行っており、社内における女性の役割、女性が働きやすい職場作りの取り組みについてお話し下さいました。

『菅原組』様は建設業を営んでいます。建設業というと男だけの世界と思いますが、今は、女性がどんどん進出してきています。建設業における女性の役割と女性が働きやすい職場作りの取り組みについてお話し下さいました。

生徒の皆さんはとても熱心に聴いていて、SDGsと共に自分の将来の仕事のイメージもわいてきたようでした。函館の企業の元気な姿が、函館の未来を開くのだと思います。そこで果たす女性の役割に大きな期待が寄せられていることも実感したようでした。

2022年10月3日（月）



教室での講演の様子